

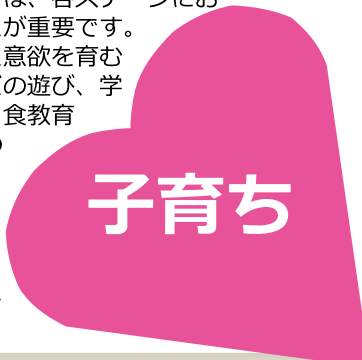
# 計画の基本理念

## 子どもが育ち・子どもと育つ・寄り添う地域・あふれる笑顔

新！ひのっ子すくすくプランでは、子どもがより良い環境の中で育ち、「子どもの最善の利益」が実現されるよう「社会全体で支える」ことで、みんなにやさしく、笑顔があふれる、そんな「子育てしたいまち・しやすいまち日野」にしたいとの思いが込められています。

乳児期におけるしっかりとした愛着形成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における自立意識や他者理解などの社会性の発達については、各ステージにおいて適切に関わることが重要です。

子どもたちが自主性と意欲を育むための、自然体験などの遊び、学校を中心とした学び、食教育による体の育成などの様々な施策を通して、子ども一人ひとりが発達段階に応じた支援を受けられるよう環境を整えていくことが重要です。

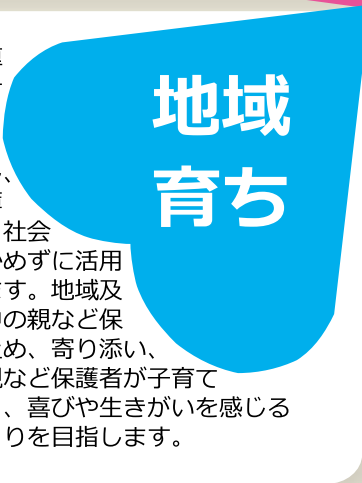


大家族から核家族に変化している現代では、親など保護者が子どもに向き合う機会が増える一方で、自分が頑張らないといけないうプレッシャーを抱える場合も少なからず存在しています。

子どもたちがひとしく心身ともに健やかに育つためには、親など保護者の存在がとても大切です。親など保護者が、様々な支援を受けながら実際に子育てを経験することを通じて、親として成長していく環境を社会全体で支える仕組みが必要です。

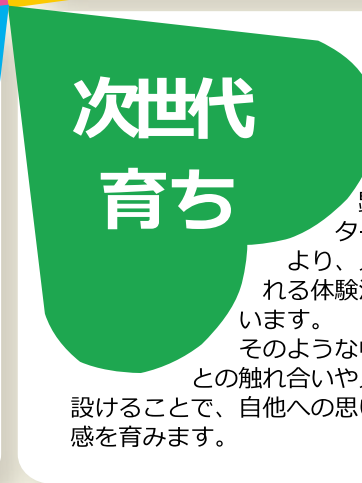


地域には、経験を重ねた人材、専門家、子どもが大好きな人など、様々な資源があふれています。しかし、地域のつながりが希薄化している現状では、社会参加のきっかけがつかめず活用できない状況もあります。地域及び社会全体が子育て中の親など保護者の気持ちを受け止め、寄り添い、支えることを通じ、親など保護者が子育てに不安や負担ではなく、喜びや生きがいを感じることができる地域づくりを目指します。



学童期から思春期にかけては、自分のことも客観的にとらえられるようになる一方、発達の個人差も顕著です。また、インターネットなどの普及により、人や物、自然に直接触れる体験活動の機会が減少しています。

そのような中、異年齢や多様な人との触れ合いや人権意識を学ぶ機会を設けることで、自他への思いやりの心や自己肯定感を育みます。



### 新！ひのっ子すくすくプランとは ～子どもが主役～

子育て支援を真に子育て世帯にとって利用しやすく有用なものとするために、日野市子ども条例の理念を踏まえ、関連する様々な計画や取り組みを「子ども」を主役に「点から線」でつなげ、子ども・子育て支援会議委員の意見を踏まえまとめたものです。

